

(参考様式)

### 人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)	更新年月(3回目)	更新年月(4回目)	更新年月(5回目)
いちき串木野市	寺堀、高畠、永野原	平成24年11月	平成25年5月	平成26年10月	平成27年4月	平成29年3月	平成30年3月

1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

属性	経営体(氏名)	経営者・代表者の年齢	構成員(従業員)	後継者の有無	現状 [平成29年度]		計画 [平成34年度]		農地中間管理機構からの借入希望の有無	新規就農・6次産業化・高付加価値化・複合化・低コスト化・	取組年度	活用が見込まれる施策				備考	
					経営内容(作目)	経営規模(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模(ha、頭数等)				青年就農給付金(開始型)	スーパーL資金の金利負担軽減措置	経営体育成支援事業	その他( )		
認定農業者		74	3		果樹	2.2 ha	果樹	2.2ha	有			○					
認定農業者		54	4		果樹	6.5 ha	果樹	6.1ha	有			○					
					水稲	0.2 ha	水稲	0.2ha									
認定農業者		49	4		みかん類	2.6 ha	みかん類	2.6ha	有			○					
					ぶどう	0.2 ha	ぶどう	20a									
認定農業者		66	1		果樹	1.3 ha	果樹	1.3ha	有			○					
認定農業者		66	5		水稲	3.1 ha	水稲	3.5ha	有	高付加価値化・複合化・低コスト化	32	○	○				
					みかん類	4.5 ha	みかん類	4.9ha									
					梅	0.5 ha	梅	0.5ha									
認定農業者		51	3		繁殖黒豚、肥育豚	70 頭	繁殖黒豚、肥育豚	100頭	有			○					
認定農業者		52	2		肥育牛	50 頭	肥育牛	100頭	有			○					
					繁殖牛	0 頭	繁殖牛	5頭									

属性	経営体(氏名)	経営者・代表者の年齢	構成員(従業員)	後継者の有無	現状 [平成29年度]		計画 [平成34年度]		農地中間管理機構からの借入希望の有無	新規就農・6次産業化・高付加価値化・複合化・低コスト化・	取組年度	活用が見込まれる施策				備考
					経営内容(作目)	経営規模(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模(ha、頭数等)				青年就農給付金(開始型)	スーパーL資金の金利負担軽減措置	経営体育成支援事業	その他( )	
中心経営体		81	2		水稻	1.5 ha	水稻	1.5 ha	有							
					果樹	0.9 ha	果樹	0.9ha								
中心経営体		64	2		水稻	0.4 ha	水稻	0.4ha	有							
					果樹	0.9 ha	果樹	0.9ha								
中心経営体		81	2		水稻	0.4 ha	水稻	0.4ha	有							
					果樹	0.9 ha	果樹	0.9ha								
中心経営体		50	3		果樹	2.3 ha	果樹	2.3ha	有							
中心経営体		76	2		果樹	2.3 ha	果樹	2.3ha	有							
中心経営体		61	1		果樹	1.7 ha	果樹	1.7ha	有							
中心経営体		67	1		果樹	1.6 ha	果樹	1.6ha	有							
中心経営体		72	2		果樹	1.1 ha	果樹	1.1ha	有							

【記載上の注意】

※「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農畜産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や将来こつした役割を担ってあろう新規就農者等を記載します。また、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認したうえで、地域の中心となる経営体として位置づけます。

※「属性」には、認定農業者は「認農」、法人は「法」、集落営農は「集」、認定新規就農者は「認就」、と記載します。

※「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段括弧書きまで組織経営体の代表者名を記載します。集落営農の構成員である認定農業者については、その全ての認定農業者の「認農：氏名」を記載します。

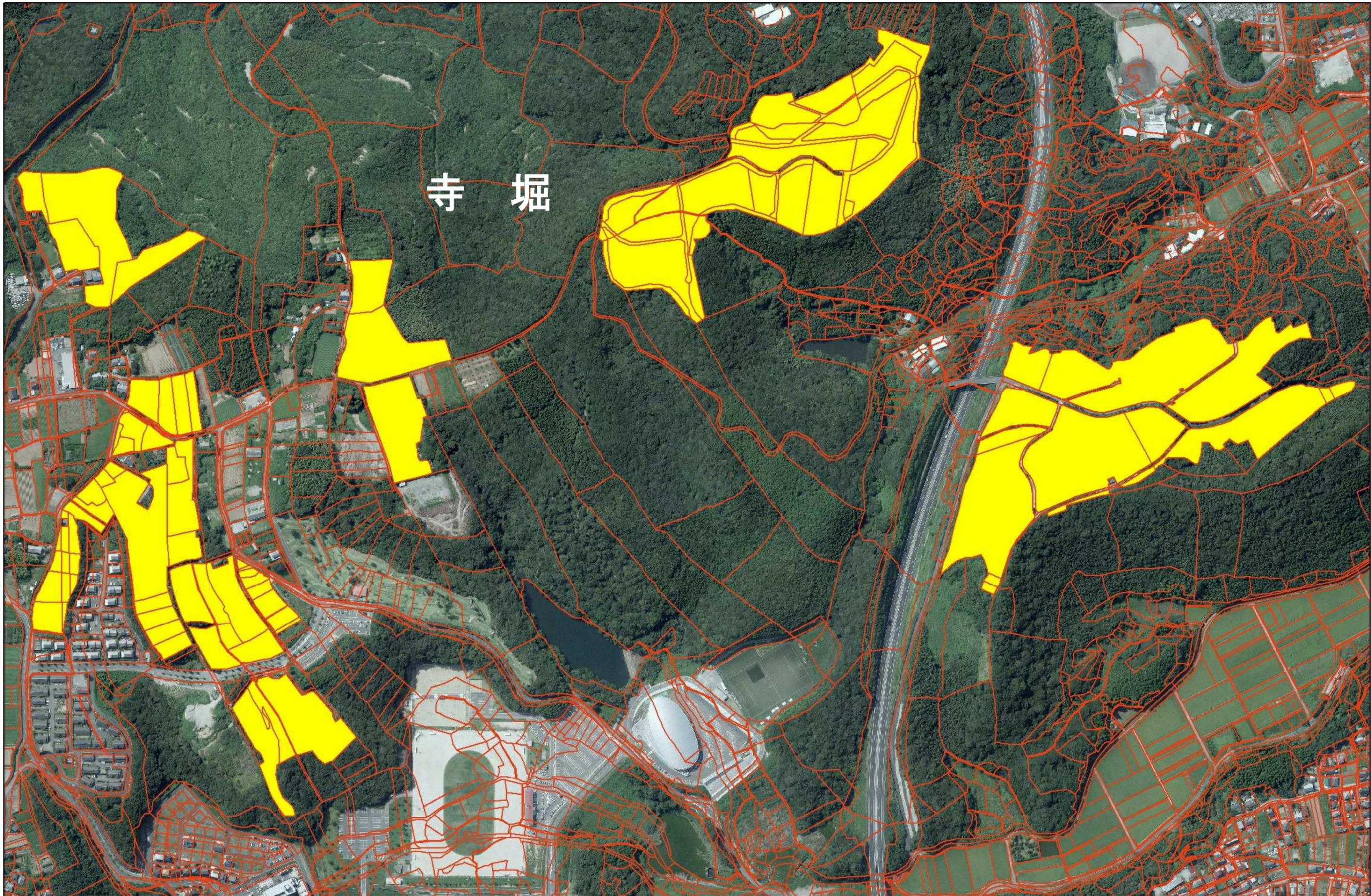
※計画欄については、現状から概ね5年程度を記載する。(以下の計画欄についても同じ。)

※「新規就農・6次産業化・・・等の取組」には、経営発展のために今後取組もうとする内容に合致する取組を選択し記載します。

2. 1 から見た地域における担い手の確保状況

担い手はいるが十分ではない





寺堀